



平成29年度 学校関係者評価報告
(基準日2018年3月31日)

2018年11月



学校法人 大阪創都学園

キャットミュージックカレッジ専門学校

学校関係者委員会 議事録

■開催日 2018年11月21日(水)

■開催時間 16:30~17:30

■開催場所 キャットミュージックカレッジ専門学校 本館 1F 教務室内 会議室

■出席者

瀧川紀征 吹田商工会議所 副会頭
東龍太郎 科学技術学園高等学校 通信課程大阪分室長
三原淑治 エム・アイ・プランニング株式会社 代表取締役
高橋国明 株式会社 白竜社 取締役 第6期生

井原延治 (学校長)
森正 (教務主任)
豊島芳樹 (音楽技術学科担当)
城将敬 (学校法人大阪創都学園事務長)

○校長挨拶

○自己評価報告書実施概要についての説明

○自己評価報告書の大項目について特筆すべき内容を説明

3-18 「関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携によりカリキュラムの作成・見直しが行われているか」についての点検評価に関する説明

・参加イベントの事前調査、本校の趣旨の理解を説明することにも注力。希望学生を出来るだけ多く参加させ、企業研修/イベント参加によりプロの現場の体験、学生の対応力判断も兼ねる。

6-42 「学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか」についての点検評価に関する説明

- ・技術系だけでなく演奏系学生も参加出来るよう枠を広げる。
- ・海外研修はという機会は、来年も続けるようにしていく。
- ・レコスタ改修工事は、現場との共通性や汎用性を基本に機器選定、教えやすさ、学びやすさを第一に検討した仕様。

7-44 「高等学校等接続する機関に対する情報提供の取組を行っているか」について点検評価に関する説明

- ・広報資料発送、説明会・クリニック企画、週末のオープンキャンパスや説明会等、認知活動を十分に行っている。

○財務状況に関する報告 (城事務長)

- ・貸借対照表、事業活動収支計算書、資金収支計算書に沿って説明 ※詳細省略

○学科ごとの振り返り報告

楽器ビジネス学科

- ・1年生は全員が進級、2年生は殆どが卒業時に業界就職、残る学生も8月に就職決定。
- ・製作進捗を個人のスピードに合わせる工夫を授業内容に取り入れる。
- ・専門的なCAD系ソフトの知識習得をカリキュラムに加えていく。

音楽技術学科

- ・学内外のイベントを精査、積極参加で学生ポテンシャルは格段に向上。その成果は就職活動での結果に表れる。
- ・2年生の背中を見ていた1年生の向上心も膨らみ、高い出席率が維持できている。

総合学科

- ・音・照・制作・映像の就活時にも業種・職種の選択肢が多い。
- ・色々習得し進路の振り幅が大きいので、本人の希望を保護者と一体となり導く工夫をする。

ダンス学科

- ・2年生はUSJ様、スタジオアッシュ様など、業界大手の企業への就職実績へとつなげることができている。
- ・進級への個別のフォローを強化、グループ間の関係が良くない部分は、担任が状況の把握に務める。
- ・2019年度より新専攻をスタート。

ミュージシャン学科

- ・高評価を得たバンドが、各メーカー、プロダクションから資料請求や面談がある。
- ・目標意識を持ち、それを継続できるように育成することを目指す。
- ・昨年度、音楽クリエイターはKORGへの就職、ナッシュスタジオ等との契約等があった。
- ・音楽クリエイターは、業界の動向を見据えた制作スタイルを確立できるようにカリキュラムを調整。

○その他、意見交換

- ・楽器人口が減少傾向にあるため、以前のように個性的な学生が少ない。
- ・演奏系の学生がPCレンタルを求め、時代のニーズが変わってきている。
- ・辛うじて「配信」よりもCD購入を選ぶ学生が多い。
- ・入学前段階のプレスクール等で、レベルを上げていくための内容を推進している。

○評価者の方々からのご意見及び質疑応答

- ・コンピューター関連スキルは、どのジャンルも必要性が高い。汎用性高くPCを学んでもらう。
- ・社会にでる手前の段階、みんなで協力した動きになるよう人間力の強化、協調性・団結力を養ってほしい。
- ・何処の学校も募集等が厳しい状況の中、他校の様子も知りながらの学校運営を考えてほしい。

(2018年春に新しくなった本館4Fレコーディングを見学)